

インテリジェンス
 ビジネスパーソン 1,000 人が選んだ

『最も転職の相談をしたい有名人ベスト5』

文化・芸能・スポーツ部門 1位 星野仙一氏

ビジネスパーソン部門 1位 堀江貴文氏

総合人材サービスを展開する株式会社インテリジェンス（本社：千代田区丸の内 代表取締役社長：鎌田和彦）は、ビジネスパーソン 1,025 名を対象に転職とその相談相手や内容に関する意識調査を実施し、最も転職の相談をしたい著名人に関するヒアリングを行いました。その結果、文化・芸能・スポーツ部門には元・阪神タイガース監督の星野仙一氏、ビジネスパーソン部門では株式会社ライブドア代表取締役社長兼最高経営責任者の堀江貴文氏が、それぞれトップに選ばれました。

この調査ではビジネスパーソンが転職相談する際、相手に何を望むかを知ることで相談者に求める要素を探り、今後のサービス向上につなげることを目的としております。今回は東京圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）と京阪神（京都府、大阪府、兵庫県）の 25 歳～39 歳の男女 1,025 名のビジネスパーソン（正社員）を対象にインターネットで行いました。この中で「著名人に転職の相談ができるとしたら、誰に相談したいと思いますか？」という質問に対し、「文化・芸能・スポーツ」「ビジネスパーソン」の各部門で 1 名ずつ、その理由と共に自由想起で回答して頂きました。

【最も転職の相談をしたい有名人ベスト5】

文化・芸能・スポーツ部門

	文化・芸能・スポーツ	%
1位	星野仙一	11.3%
2位	細木教子	8.3%
3位	ビートたけし	5.8%
4位	古田敦也	3.6%
5位	イチロー	3.5%

ビジネスパーソン部門

	ビジネスパーソン	%
1位	堀江貴文	6.4%
2位	カルロス・ゴーン	5.4%
3位	三木谷浩史	4.4%
4位	孫正義	3.1%
5位	ビル・ゲイツ	1.6%

文化・芸能・スポーツ部門では星野仙一氏が男女共に広い支持を得て1位を獲得！

星野仙一：1位を獲得したのは星野仙一氏。阪神タイガースを優勝に導いた指導者としての実績で、「頼りがいがありそう」「叱咤激励してくれそう」「決断力がつきそう」という理由が挙げられた。

選んだ理由	相談したいこと
素晴らしい指導力・決断力の持ち主だから	新しい仕事へのチャレンジする勇気が欲しい
真剣に一緒に考えてくれそうだから	現状打破するための前向きな姿勢・方向性

細木数子：2位の細木数子氏は女性から圧倒的な支持を得た（女性のみでは11.7%でトップ）。

「ズバツと的確にアドバイスしてくれそう」など、メディアで活躍する姿が得票に結び付いた。

選んだ理由	相談したいこと
思いもよらない回答が返ってきそう	転職の時期と業種を相談したい
悩みが一気に解決しそう	自分に向いてる職業・将来像を聞きたい

ビートたけし：3位はビートたけし氏。男性20代からの支持を得た。人生経験の豊富さと奔放なイメージとは反対に自分の生き方を持ち、成功している彼独特の人生観に憧れる若者が多いのだろう。

選んだ理由	相談したいこと
自分と違った見方のできる人だから	苦労を楽しく思うコツを教えてほしい
自分にはない情報が得られそうだから	給与と有給休暇のバランスなどを話してみたい

古田敦也：4位は古田敦也氏。今年の球団問題で注目され、その姿勢に共感を持った人が多かった結果であると言える。

選んだ理由	相談したいこと
選手会でリーダーシップがあったから	組織の中で自分の位置を確立するにはどうしたらいいか
理性的・理論的・客観的な意見を聞けそうだから	転職に当たり、現状の職場とどちらがいいか相談したい

イチロー：5位のイチロー氏は男性20代からの圧倒的な支持を得た。「大リーグへの移籍も転職のひとつ」と考えている人も多く、そこでの活躍ぶり、今後の期待の高さからの結果であろう。

選んだ理由	相談したいこと
先を見据えながらもチャレンジ精神を忘れない点	どのくらい先を視野に入れて考えるべきか
自分の好きなことで活躍し、お金の面で評価されている	好きな仕事だが年収が低いことについて相談したい

全体としては「的確なアドバイスしてくれそう」という理由が最も多く、全体の12%が選んでいる。

2番目に多かった理由は「はっきり言ってくれそう」というもので、なかなか明確にものを言わない世相を反映しているようだ。

ビジネスパーソン部門では、2004年に数々の話題を提供した堀江貴文氏がトップに！

堀江貴文：1位となったライブドアの堀江貴文氏は、「判断力と実現意思に長けていそう」「決断力と行動力があるから」と、2004年の話題となったプロ野球新規参入に際し先陣を切った姿が評価された。新規参入に関しては楽天の三木谷氏に譲ったが、こちらでは堀江氏の勝利となった。

選んだ理由	相談したいこと
考えるよりも行動の人だと思うから	偉い人にぶつかって行く時の心構えを教えてください
先見の明を持っているように思うから	伸びる職種は何か？経営者側から見た欲しい人材

カルロス・ゴーン：日産自動車 CEO のカルロス・ゴーン氏は、独自の視点を持ち、決断力と実行力で実績を残す姿が多くの賛同を得ている。

選んだ理由	相談したいこと
自分のいい所を見つけて良い結果をもたらしてくれそう	将来の自分の会社での役割などを聞きたい
厳しいことも含め必要なことを言ってくれそうだから	日本の企業が抱える問題点・生産性など

三木谷浩史：第3位の三木谷氏は男性30代から圧倒的な支持。（ちなみに堀江氏は女性20代からの支持が強い。）現状に対する不満などよりかは、将来への期待・希望感を表すコメントが多かった。

選んだ理由	相談したいこと
若いうちに地位に安住せずに攻めていったところ	これからはどんなビジネススタイルがはやるのか？
十分な知識と経験の上での発想が面白そうだから	転職すること自体が得か損か？

孫正義：第4位はソフトバンク社長の孫正義氏。やはりIT関連企業の社長への注目度は高く、成功者としてのイメージが強いようだ。

選んだ理由	相談したいこと
企業の雄でありどんな状況にも的確な判断をしそう	転職するとしたらどのような心構えで仕事をするべきか
アグレッシブに経営をしているように見えるので	全てにおいてアンテナはどう持つべきか？

ビル・ゲイツ：やはり第5位も昨年まで色々な面で注目を浴びたマイクロソフトのビル・ゲイツ氏。国境を越え、世界が注目するビジネスパーソンへの憧れは強い。

選んだ理由	相談したいこと
世界に通用する成功者だから	世の中の渡り方と成功する秘訣を聞きたい
多角的な面から見てアドバイスしてくれそう	成功している企業とそうでない企業の違いは何か？

ビジネスパーソン分野の著名人では、2004年に様々な角度で取り上げられ、注目された会社社長のイメージが強い。主な理由としては「成功者だから」が4.8%と最も多い他、「有能だから」という理由も3位に挙がっており、ビジネスだけでなくパフォーマンスのうまさも必要な要素となっているようだ。

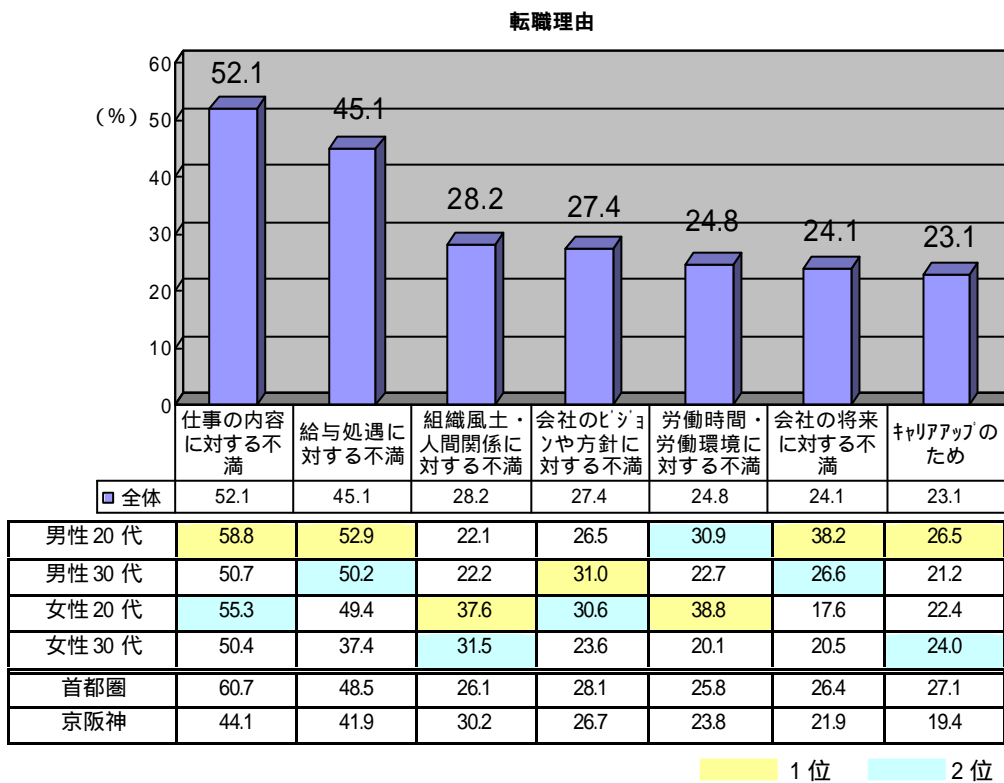
全体の 59.5%が転職経験あり

- ・ なかでも「4 回以上ある」と答えた人は女性 30 代に多く、15.7%を占めた。
- ・ 男性だけで見ても、転職経験があると答えた人は半分以上の 52.9%となった。

転職を希望する主な理由は

1 位「仕事の内容に対する不満」(52.1%) と 2 位「給与・処遇に対する不満」(44.9%)

- ・ 「仕事の内容に対する不満」は男性 20 代で 58.8%を占め、また地域別で見ても京阪神よりも首都圏で 15%以上の差が高かった。
- ・ 全体的な属性で見ても上位 2 位は変わらないが、3 位以降の理由になってくるとやはり女性と男性とでは不満に思うことへの違いが顕著になってくる。



転職の相談をする人は 70.1%

- ・ 全体の 7 割が相談するとしているが、実際に転職経験ありとする人では 61.3%に留まっている。
- ・ また、20 代では 77.2%が転職の相談をした(する)と答えており、若年層ほど相談意識が高いことがわかった。
- ・ 逆に「相談しなかった/相談しない」と答えた方に関しては「全て自分自身で決めるため」が 86.4%を占めた。

相談内容は相談相手によって変化～キャリアアップに関する相談は転職コンサルタント～

- ・ 相談相手は「親、妻や夫などの家族」が最も多く、「学生時代の友人・先輩」がそれに続いている。相談内容は「仕事の内容に対する不満」や「給与・処遇に対する不満」が概ね上位に挙がっているが、相談相手が転職コンサルタントである場合に限り「キャリアアップ」の割合が増える傾向にある。
- ・ また、相談相手に期待することとしては、家族や恋人に対しては情緒的な事柄が比較的多く、友人・上司・同僚・転職コンサルタントらには「的確なアドバイス」や「色々な情報」といった実利的な事柄への期待が高まることがわかった。

<株式会社インテリジェンスについて>

株式会社インテリジェンスは、1989年の創業以来“人と組織を多様な形で結ぶ「インフラとしての人材サービス」を提供し社会発展に貢献する“という企業ビジョンのもと、人材に関する多様なサービスを展開しています。

また、「はたらくを楽しもう™」というブランドスローガンのもと、ビジネスパーソンのはたらくをサポートする様々な情報発信を積極的に行っていくと共に、前向きにはたらく方々を応援いたします。

【提供サービス】

人材紹介、人材派遣、エンジニア派遣、テクニカルアウトソーシング、アルバイト求人サイト、製造派遣・製造請負、再就職支援、エグゼクティブサーチ、組織・人事コンサルティング

詳しくは、当社ホームページ<www.inte.co.jp>をご覧ください。

より詳細なデータにつきましては、下記までご連絡いただければと思います。

本件の報道に関するお問合せ先

株式会社インテリジェンス サポート本部マーケティング部 左右津 (そおず)

TEL .03-6213-9202 FAX .03-6213-9088

E-mail: pr@inte.co.jp URL: www.inte.co.jp

本件の取材に関するお問合せ先

インテリジェンスPR事務局

担当 :山田 / 西江

TEL .03-3230-2232 FAX .03-3230-2235